

あけまして、おめでとうございます。

この年末年始はどのように過ごしたろうか。元旦の大地震にはびっくりした人も多かったと思う。大津波警報が出たり度重なる余震が続いたりして、現在でも被害の大きさが次第に明らかになってきているところ。

今回の地震や事故で亡くなられた方のご冥福をいのるとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げたい。

今年はどのような年になるのだろうか。この頃は変化の激しい時代とよく言われるが、このような事態に遭遇すると、変化が激しいどころか、コロナにしろ、戦争にしろ、まったく脈絡のない出来事に人類は翻弄されているという表現のほうがあたっていると思われる。

お正月だから、私はみなさんにもっと明るい話をしたかったんだけど、途切れることなく送られている被災地や事故の映像を見ていたら、私たちは、これらの出来事、世界で起きている大いなる変化は、まだ遠くのことで、身に迫っているとは考えようとしないう、「正常化バイアス」という心理状態にとらわれているのだと身につまされる。

このような時代にあって、何が正しいかということには目をこらしていなければならぬ。

12月の初旬にはいわしが北海道の浜辺に1キロメートルにわたって打ち上げられたことがあった。大きな動物に追われて浜に打ちあがったらしいが、海外では「福島原発事故の処理水を海中に放出して2か月後、大量のいわしが浜にうちあげられた」というニュースが拡散した。まったく別個の事象を、根拠なく組み合わせることで、あたかも処理水によっていわしが死んだという印象の操作が感じられる。

このような報道に触れるたび、私は人間が、とめどなく愚かになっているのではないかと、慄然とせざるを得ない。

長野高校に学ぶみなさん。みなさんは在学中に成人する。今年一年はみなさんにとってかけがえのない一年になることは間違いない。毎日を大切に過ごすことと、周囲の人々への感謝の気持ちを忘れないでほしい。そして、みなさんがやがて社会人として大きな困難に立ち向かうとき、人々の多様性を認め合いながらも、その違いを包摂しようとする努力を怠らず、一人ではなく、人間の連帯の力にこそ信をおいて、勇気をもって前進してほしいと願う。

3年生のみなさん。いよいよ共通テストが近づいてきた。学年集会でお話しした通り、受験生はいかに目標に近いかわからない。日々、最善を尽くすことこそが大切。

最後に、今年一年、本校に集う皆さんが、健康で有意義な日々を送られることを切に願って、わたくしの新年のメッセージといたします。